

事務事業名		北部学校給食センター児童生徒給食費					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育む教育・文化づくり				担当組織	担当部	教育総務部	担当課	北部学校給食センター
	政策	1	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり				担当係			担当課長名	古内裕之
	施策	2	安全で安心して学べる教育環境の整備				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1	安全で快適な学校施設の整備				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15420	一般	10	5	3	北部学校給食センター児童生徒給食費					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～	年度	根拠法令 条例等	学校給食法					
						市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		直営			
						事業分類		その他市民に対する事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
学校給食の提供に必要な食材の購入。 学校給食は、児童生徒の保護者から納入される毎月の給食費を財源とし、賄材料費によりすべて給食に必要な食材材料の購入に充てている。	小中学校24校と関係教職員等の学校給食の賄材料の購入。 アレルギー対応給食食材の購入。検食分(通常分、アレルギー対応分、各2食)の購入。 放射線測定分食材の購入。 事業費の内訳: 賄材料費 244,224千円						
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	給食数(5月1日現在)	食	5,095	4,944	4,916		

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

小中学校の児童生徒及び教職員。	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	小中学校児童生徒数	人	4,599	4,432	4,410		
	小中学校教職員数	人	496	512	506		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

食材由来の食中毒や食物アレルギー事故がなく、安全・安心で栄養バランスのとれたおいしい学校給食を提供し、成長期に必要な栄養量を確保してもらう。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	食中毒発生件数	件	0	0	0	0	0
	食物アレルギー事故	件	0	0	0	0	0

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

学校給食の安全性が確保されている。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	学校給食における事故件数	件	30	48	0	0	0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	155,667	243,546	243,315					
	一般財源	千円	1,237	678	497					
	事業費計(A)	千円	156,904	244,224	243,812	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			需用費	156,904	需用費	244,224	需用費	243,812		
人件	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1			
のべ業務時間	時間	280	280	280	280	280				
人件費(B)	千円	1,103	1,103	1,103	1,103	1,103				
トータルコスト(A)+(B)	千円	158,007	245,327	244,915	1,103	1,103				

事務事業名	北部学校給食センター児童生徒給食費	担当部	教育総務部	担当課	北部学校給食センター	担当係	
-------	-------------------	-----	-------	-----	------------	-----	--

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成25年8月1日、北部学校給食センター供用開始。同日供用廃止となった第2・第3学校給食センターを引継いで事業開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	合併により給食費の見直しを行った。平成19年度下期から原油高騰や自然災害等により、多くの食材費の値上がりが続いている。放射線量やアレルギー事故等の食の安全に対する市民の関心が高まっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	給食費の未納問題、地産地消への取り組み、給食食材の放射線量などの質問がある。アレルギーの児童生徒についての取り組みが保護者や学校から求められている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	さらに安全・安心で栄養バランスのとれた学校給食を提供し、成長期に必要な栄養量を確保してもらう。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	安全な食材の購入や、検食、食材の放射性物質検査は、安全・安心な給食提供につながるため、結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	学校給食の実施主体は市町村となるため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	学校給食の提供対象であるため見直す必要はない。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	学校給食の提供に必要なすべての食材を購入し、その食材由来の食中毒、アレルギー事故等が無いことが目標であり、現状を維持することが重要である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案	類似事務事業名   保育園給食費 保育園は厚生労働省、小中学校は文部科学省というように国の所管が違い、その対象年齢が違っており、特に保育園では年齢に即した献立が必要であるため、統廃合・連携はできない。 *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	給食費の事業費の減額は、提供する給食そのものの内容・品質に関わることで、現在の物価水準からしても削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	学校給食法により学校給食の食材料費は保護者の負担となっており、保護者から給食費を徴収しているため、受益者負担は適正といえる。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			